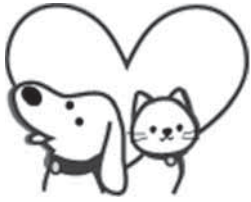


小っちゃな命と共生を！



9月20日～26日は動物愛護週間です

動物のいる生活はわたしたちを楽しませ、心を豊かにしてくれます。

市内の犬の登録数は3,167頭で、猫も多く飼われ、ハムスター、ウサギを飼っている家庭もあります。市内の小学校ではウーパールーパーやカメ、フナ幼魚、金魚、メダカの飼育を行い、浦戸第二小学校ではクロメダカの繁殖をしています。

命の大切さを教えてくれる動物たち。しかし、飼い方によっては、近隣トラブルになってしまうこともあります。

今月は犬・猫の飼い方を確認しつつ、動物との共生を考えてみましょう。



犬を飼うときのマナー

●届け出

生後90日を過ぎた犬は登録（登録手数料3,000円）が義務づけられています。登録でもらえる鑑札（狂犬病注射済票も同様）を犬の首輪などにつけていると、迷子になって保護された際、飼い主に連絡をとることが出来ます。なお、住所の変更や飼い犬が死亡した場合も届け出が必要です。

●排泄物の処理

散歩はなるべくトイレを済ませてから行くようにしましょう。散歩中にフンをした場合は必ず持ち帰り、おしっこをしたら水で流しましょう。

●放し飼いの禁止

つないでいないと、車道に飛び出したり人やほかの犬にかみつきたりする危険があります。散歩は必ずリードなどでつなぎ、リードは短くして散歩しましょう。

●しつけ

基本的なしつけができていないと周りの人に愛され、災害時に避難所でも受け入れられやすく、ペット自身のストレスも軽減されます。困難な場合は専門家に相談することも有効です。



猫との暮らし

●猫を飼うとき

外に出すと排泄物で近隣住民の迷惑になるだけでなく、猫への危険



もいっぱいあります。なるべく室内で飼い、去勢・避妊手術をしましょう。首輪・迷子札を付けて身元がわかるようにしましょう。

●飼い主のいない猫について

「かわいそうだから」とえさをあげるだけでは、猫が増え近隣住民の迷惑になります。①置きえさはしない②排泄物を処理する③去勢・避妊手術をして猫を増やさないようにする④地域の理解を得られるような努力をする、といったことに十分注意してください。

猫で困っている人は、猫はキレイ好きで体が汚れるのを嫌うので、水をまいて地面を濡らしておくなど、居心地を悪くすると寄り付かなくなり、臭いにも敏感なので、猫が嫌う臭いの強いものを置くのも一つの方法です。また、エサやりをやめても、飢えた猫がゴミをあさるなど、かえって被害が拡大する恐れもあります。地域で協力しなければ解決できない問題であることをご理解ください。



動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護法）の改正

9月1日から施行されました。主な改正点は次の通りです。

1 飼い主の責任

- 一度飼った動物は生涯を終えるまで飼養すること
- みだりに繁殖しないよう不妊・去勢手術などの措置をすること
- 動物が逸走しないようにすること
- 生活環境に支障がないように飼養すること

2 相当な理由がない場合、保健所での引き取りを拒否されることはありません。

3 愛護動物の殺傷、虐待、遺棄に対する罰則が大幅に強化されました。

4 動物の譲渡などを目的に、営利性がなく施設を有し、一定数の動物を飼う場合には、第二种動物取扱業として届出が必要となります。



飼うことができない犬・猫をなくすため

平成24年度に塩釜保健所で飼い主の所有権放棄や飼い主不明で引き取った犬、猫の頭数は数百頭にもなりました。こうした動物たちをなくすため、動物愛護法改正で示されたように、飼い主は生涯世話をする覚悟を持ちましょう。

市民安全課 市民生活係
364-11111 (内線244・248)



塩釜獣医師会
中川 正裕先生

問題解決には、みんなの協力が 必要です

ノラ猫のえ付けについて、問題になっている地域が多いようです。え付けで困る点は、猫が増え続けること、えさの残りにカラスなどほかの動物が寄ってくること、糞尿で住環境が汚されることなどです。

この問題の解決には、避妊や去勢で猫



塩釜獣医師会
畠山 恵子先生

相手を思いやる気持ちが大切です

お互い、相手の気持ちになって考えてみる、ということが大切です。それは動物が好きな人・嫌いな人の間でもいえることですし、人間と動物の間でもいえることです。

動物を飼う人は、その動物本来の習性を理解して飼ってほしいですね。

犬ならば、元々群れで暮らしていたた

を増やさないようにする、えさの残りは片付ける、糞尿の始末をする、などのことが必要です。人々の協力の元、地域で世話をされる猫を「地域猫」といいます。現在、各地でこの方法で猫と地域住民がともに暮らしている事例が見られます。

もし、猫で困っている地域があれば、避妊や去勢などは費用が発生しますし、獣医の力が必要になりますので、獣医にご相談いただければと思います。ただ、実践するには、猫が好きな人・嫌いな人、どちらの協力も必要です。これは、飼い猫にもいえませんが、産まれた命を捨てたり殺したりする前に、避妊や去勢でかわいそうな命を生み出さない努力が必要です。

め、集団内での序列を決める習性があります。かわいから、かわいそうだから、と犬の要求にその都度応えていては、犬は家族の中で自分が一番偉いと勘違いしてしまいます。あくまでもリーダーは人間であり、犬を従わせるようにしないと、人間が犬に振り回されてしまいます。そのためにも、きちんとしたしつけが大切です。しつけは、繰り返し、根気よく続けることが必要になります。わからないことや心配なことは、獣医に相談してください。

ストレスの多い中、犬や猫を飼うことは、癒しにもなります。そのためには、正しいしつけで、よりよい関係を築いていきましょう。



櫻山陽子さんと
チビちゃん
(小松崎)

生き物を飼うには、覚悟と 責任が必要だと思えます

うちでは猫を3匹飼っています。きっかけは、子猫が床下に住みつけたのを、保護したことでした。保護したときは、正直、このまま保健所に持っていこうかとも思いました。

でも、飼うことに決め、

犬は一家の一員です。

小さい頃は、よく吠える犬で、近隣の家に迷惑かけたのでは、と思います。一時は、訓練所に入れてしつけをしてもらおうかと考えましたが、繰り返し教えることによって、従順で、無駄吠えのない「善い犬」になりました。親バカですが(笑)。



小野寺美代子さんの
飼い犬らんちゃん
(花立町)

犬を飼い始めると、ワフチンだ、シャンプーだとお金もかかります。行きたくなくても毎日の散歩、ウンチの処理、無駄吠えなどのほか、家族そろっての長期旅行にも行けなくなりしました。けれど、犬と暮らしていくといろいろな楽しみも与えてもらえますよ。散歩していると、いろんな人に話しかけられて、コミュニケーションの機会が増えます。

あと7年もすれば介護も必要となると思いますが、最後まで面倒みます。私も犬も「一緒に暮らせてよかった」と思えるといいですね。

飼うからには責任をもってこの命を守らなければと覚悟しました。飼い始めのとき、避妊が間に合わずに妊娠させてしまったり、外に出したらケガをして帰ってきたりということがあったため、今では生まれた子猫にも避妊手術をし、室内だけで飼うようにしています。チビはもう12歳になるおばあちゃん猫ですが、まだまだ元気で。爪とぎで柱がボロボロになったり、猫が外に出ないように窓が開けられず暑かったりします。それでも、一緒にいると癒されます。心のおアシスですね。